

里親養育に関するコミュニケーションシート：CARE

評価日：令和XX年XX月XX日

評価者：●●、●●、●●...

里親（名前・年齢）：○○○（才） ○○（才） 単身者の登録

フォスタリング機関担当者：●●（スーパーバイザー：●●）

市町村（中学校区）：▲▲市（ ）

同居家族：(例) 夫婦のみ。敷地内に里母の両親宅あり。

住居の状況：(例) 2階戸建て、3LDK

里親グループ：○○グループ

受託（マッチング）中の子ども：○○(才)

児童相談所（措置）担当者：○○（スーパーバイザー：○○）

現在の養育者（担当者）：△△、△△

評価の定義

- ◎ 里親としての強みである（強みとなり得る）
- 現時点で課題・心配・違和感はない（見当たらない）
- △ 重点的なサポート・確認が必要な課題・心配・違和感がある
- × 安全・安心な里親養育が困難となる重大な課題・リスクがある
- － 現時点でわからない（なんとも言えない）

C 【コミットメント】里親としての志向と継続・柔軟な関与

※根拠となる事象等を記載する欄、評価の記述欄については、◎、△、×、－の項目について記載します。

#	小項目	定義	里親1	里親2	F機関		総合	根拠となる事象・エピソード・背景/感情・印象	評価（・必要なサポート等）の記述（言語化）
1	里親という生き方の選択（里親制度への理解と動機）	子どもを“家族の一員”として、自分の子どもと同じように養育する							
2	里親養育の質の向上と拡大への志向	里親養育の質の向上や拡大に対する意欲が高く、研修会やイベント、ピアサポート活動等に積極的に参加する							
3	里親養育に関する考え	里親養育に関する考え（想定する養育、受け入れ可能な子どもの年齢・性別、特別なニーズの有無等）をわかりやすく説明する							
4	子どもの受け入れに必要な準備と影響への対応	子どもを迎え入れるにあたり、子どもが家族の一員として安心して生活ができること、また、家族（親族）に与える影響を検討し、必要な対応・対策を行う							
5	多様性の理解と人権の尊重	多様な価値観を受け入れ、人種・性別・年齢、宗教・文化、信条、出自・障がいの有無、学歴・職業等にかかわらず、人権を尊重し、子どもやその親、関係者と誠実に関わる 【追記】子どもの委託理由や性に関する話題等について、タブーにせず、子どもと適切に話す							

A 【アンカー（ファンダメンタルズ）】安定した生活基盤と自己理解

※根拠となる事象等を記載する欄、評価の記述欄については、◎、△、×、－の項目について記載します。

#	小項目	定義	里親1	里親2	F機関		総合	根拠となる事象・エピソード・背景/感情・印象	評価（・必要なサポート等）の記述（言語化）
6	家族の構成と安定性	家族関係に継続的な対立や葛藤がなく、家族メンバーがお互いを尊重し、協力して生活を営んでいる							
7	健康状態	現在、身体的・精神的に健康であり、子どもに安全・安心な養育を提供する上で支障や懸念がない							
8	経済的な状況	無理なく安定した家計の運営を行い、委託の有無にかかわらず、今後も継続する見通しがある							
9	生活環境・住環境	周囲の環境に子どもの育成上特筆すべき懸念がなく、心地よく生活できる安全で健康的な住環境を準備している						<input type="checkbox"/> 火災報知機の設置 <input type="checkbox"/> 受動喫煙対策 <input type="checkbox"/> ペットの管理	
10	自己の理解と柔軟性	自分の長所と短所をバランスよく理解していて、課題やストレスに柔軟に対処している 【追記】家庭・学校等での関係性のトラウマや葛藤の経験（虐待・養育者不在、分離・喪失、いじめ・体罰等）がある場合、心の中に押し込めたり、囚われることなく、客観的に受け止められている							

R 【リソース】養育を支える人的・社会的資源

※根拠となる事象等を記載する欄、評価の記述欄については、◎、△、×、-の項目について記載します。

#	小項目	定義	里親1	里親2	F機関		総合	根拠となる事象・エピソード・背景/感情・印象	評価（・必要なサポート等）の記述（言語化）
11	家族や親族の理解と協力	家族や親族が里親という生き方を理解し、子どもの受け入れや子どもとの生活に協力している							
12	養育のための時間の確保	里親養育の状況に合わせ、関係機関との相談等を含む、安全・安心な養育のために必要な時間を確保している							
13	社会的なネットワーク	仕事、子育て、趣味・余暇活動、地域・社会活動等を通じ、養育を支える家族・親族以外の社会的ネットワークがある							
14	子育ての経験等	子育ての経験等があり、子どもを養育する際の基本的なスキルを備えている（子育ての経験等がない場合：子どもを養育する際の基本的なスキルを習得する意欲と見込みがある）							
15	子どもに関わる姿勢	子どもと関わるのが好きであり（嫌いではなく）、面倒臭がらずに、子どもの目線に立って関わっている							

E 【エキスパートイズ】里親養育に必要な理解と専門性

※根拠となる事象等を記載する欄、評価の記述欄については、◎、△、×、-の項目について記載します。

#	小項目	定義	里親1	里親2	F機関		総合	根拠となる事象・エピソード・背景/感情・印象	評価（・必要なサポート等）の記述（言語化）
16	チーム養育と連携・協力	里親養育の基礎が里親とフォスタリング機関のチーム養育であることを理解して協働し、養育にあたり、子どもの家族、児童相談所等の関係機関（者）と連携・協力する							
17	個別化された養育（子どものアタッチメント形成・治療的養育）	子どもの行動について、背景にある感情や経験を考え、その子どものニーズに合わせて養育する 【追記】子どもの「移行」時は、前後の養育者・関係者と協力し、子どもができる限り見通しが持てるよう工夫・配慮する							
18	長期的な関係の維持・構築（子どものパーマネンシー保障）	子どものパーマネンシー（大切な人との長期的なつながり）保障の重要性を理解し、家族交流や家庭復帰、養子縁組への移行等をサポートするほか、子どもとの長期的な関係作りにも配慮する							
19	守秘義務と記録保持	フォスタリング機関等とも相談の上、子どもや子どもの家族の個人情報を安全に管理・共有するとともに、子どもの成長・生活の記録（写真、工作物、成績、養育記録等）を整理・保管する							
20	里親養育歴	里親養育の経験があり、養育により子どもや子どもの家族にポジティブな変化があった							

強み・課題（心配）

【強み】
【課題（心配）】

今後の研修・支援のニーズ

【研修・トレーニング】
【支援のニーズ】

チームの里親養育方針（まとめ）

里親養育に関するコミュニケーションシート：CARE 問いの例と留意事項

C 【コミットメント】里親としての志向と継続・柔軟な関与

#	小項目	定義	里親養育を考える（チェックする）際の【問いの例】	留意事項
1	里親という生き方の選択（里親制度への理解と動機）	子どもを“家族の一員”として、自分の子どもと同じように養育する	<ul style="list-style-type: none"> ・里親に関心をもち登録を希望した理由はなんですか？ ・里親として、子どもをどのようにサポートしたいですか（していますか）？ ・自分の子どもの養育と里子の養育について、共通点と相違点はどんなことだと思いますか？ 	困難を抱える子ども（その親などを含む）の人生に寄り添い、柔軟に関わり続け、子どもの育ちと生活にポジティブな変化を生み出そうとする志向と関与が必要となります。
2	里親養育の質の向上と拡大への志向	里親養育の質の向上や拡大に対する意欲が高く、研修会やイベント、ピアサポート活動等に積極的に参加する	<ul style="list-style-type: none"> ・里親研修やイベントにどのように、どのくらい参加しますか（していますか）？ ・里親同士のつながりや交流の状況はどうでしょうか？ ・研修等への参加を難しくする理由があるとすればどんなことでしょうか？ 	特に、養育上の課題や懸念がある場合、研修等への参加や里親同士の交流などによりできるだけその課題の解消に努めることが大切です。
3	里親養育に関する考え	里親養育に関する考え（想定する養育、受け入れ可能な子どもの年齢・性別、特別なニーズの有無等）をわかりやすく説明する	<ul style="list-style-type: none"> ・養育を希望する子どもの年齢、性別、障がいの有無などはありますか？ ・その理由はどのようにしてでしょうか？ ・希望の条件を超えるケースを児童相談所から打診されたらどのように考えますか？ 	養育の考え＝様々な子どもに幅広く対応、中長期の養育、自立までの養育、乳幼児専門、ショートステイ・レスパイト専門など わかりやすい＝内容・理由の理解が可能で、一定のニーズが考えられること
4	子どもの受け入れに必要な準備と影響への対処	子どもを迎え入れるにあたり、子どもが家族の一員として安心して生活ができること、また、家族（親族）に与える影響を検討し、必要な対応・対策を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・里親として子どもを養育する場合、家族・仕事・生活にどのような影響があるでしょうか？ ・この影響を最小限にするために準備できることはあるでしょうか？ ・里親養育には困難なこともあります。困難な状況をポジティブに変換した経験はありますか？ 	
5	多様性の理解と人権の尊重	多様な価値観を受け入れ、人種・性別・年齢、宗教・文化、信条、出自・障がいの有無、学歴・職業等にかかわらず、人権を尊重し、子どもやその親、関係者と誠実に関わる 【追記】子どもの委託理由や性に関する話題等について、タブーにせず、子どもと適切に話す	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の習慣や信条をお持ちであったり、信仰がありますか？ ・子どもの習慣や信仰がご自身と異なる場合、どう対応しますか？ ・受け入れることが難しい他人（子ども）の特徴や行動にはどんな場合がありますか？ 【追記】 <ul style="list-style-type: none"> ・辛い体験やマイナス感情について、夫婦（パートナー）・家族でいつでも冷静に話すことができますか？ 	特定の信条や信仰を子どもに強要することはできません。 タブー視の影響＝実親の話題や性に関する話題について、子どもの問いかけを回避したり、抑えたりすると、子どもはこの話題は話してはいけないんだと学び、大事なときに相談してくれなくなるのが考えられます。 ※記号による評価は行わず、根拠等に基づき記述により評価を行います。

A 【アンカー（ファンダメンタルズ）】安定した生活基盤と自己理解

#	小項目	定義	里親養育を考える（チェックする）際の【問いの例】	留意事項
6	家族の構成と安定性	家族関係に大きな対立や葛藤がなく、家族メンバーがお互いを尊重し、協力して生活を営んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・夫婦（パートナー）の関係はどのような関係だと思いますか？ ・家族に関する重要こと（例：住宅購入、転職、子どもの進学）はどのように決定されますか？ ・今の家族のもっとも大きな課題は何でしょうか？ 	家族の関係が相互の尊重にもとづき、協力的な関係でない場合、里親養育が上手くいかない場合が多いです。
7	健康状態	現在、身体的・精神的に健康であり、子どもに安全・安心な養育を提供する上で支障や懸念がない	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や仕事で健康上の制約やそのリスクはありますか？ ・逆に、長時間労働など、健康を害するリスクはありませんか？ ・継続的な受診が必要な状況や医師からの指示はありますか？ 	すでに顕在化している健康上の問題のほか、過度な飲酒や喫煙、長時間労働など現在の生活で健康を害する高いリスクがないのかも検討してみることも大切です。
8	経済的な状況	無理なく安定した家計の運営を行い、委託の有無にかかわらず、今後も継続する見通しがある	<ul style="list-style-type: none"> ・収入／支出の今後の見通しはどうか？ ・収支が大きく変化するリスク（退職・転職、子どもの進学等）はあるでしょうか？ ・収入が一時的に減少しても生活を確保できる仕組みはありますか？ 	
9	生活環境・住環境	周囲の環境に 子どもの成育上 特筆すべき懸念がなく、心地よく生活できる安全で健康的な住環境を準備している	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども用の部屋・学習スペース・収納をどのように確保されますか？ ・（犬、猫を飼育する場合）誰の意向で飼っていますか？ ・（犬、猫を飼育する場合）子どもにアレルギー反応が出たら、どのように対処しますか？ 	心地よく生活できる安全で健康的な住環境＝適度に整理・整頓されていること、年齢に応じて子どもがプライベートな空間の確保ができること、受動喫煙の対策、法令上の火災報知機の設置、ペットの飼育・管理の状況を含む
10	自己の理解と柔軟性	自分の長所と短所をバランスよく理解していて、課題やストレスに柔軟に対処している 【追記】家庭・学校等での関係性のトラウマや大きな葛藤の経験（虐待・養育者不在、分離・喪失、いじめ・体罰等）がある場合、心の中に押し込めたり、囚われることなく、客観的に受け止められている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご自身の長所と短所を3つずつ挙げるとすれば、どんなことでしょうか？ ・それは里親養育にどのように活かせますか、どう補うことができるでしょうか？ ・ご自身の長所・短所について、他の人からはどのように言われることが多いですか？ ・最近、強いストレスを感じた出来事があったとき、どのように対処しましたか？ 【追記】 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の親との関係はどのような関係でしょうか？ 親に対して何か大きなわだかまりはありませんか？ 	バランス＝自己を肯定的に捉えるとともに、謙虚さ・素直さを持ち合わせていることが里親養育には必要だと考えます。 課題・ストレスへの対処＝社会的養護が必要な子どもの養育では、ストレスがかかる状況において、自分の感情を無視したり、感情に圧倒されずに養育者の反応を調節する力が必要です。特に、親子をはじめとする人間関係上のトラウマや大きな葛藤がある場合は、養育に大きな影響を与えます。

R 【リソース】養育を支える人的・社会的資源				
#	小項目	定義	里親養育を考える（チェックする）際の【問いの例】	留意事項
11	家族や親族の理解と協力	家族や親族が里親という生き方を理解し、子どもの受け入れや子どもの生活に協力している	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や親族で里親制度に反対されている方、懸念を持っている方はいらっしゃいますか？ ・それはどうしてでしょうか？ どうすれば理解が得られる可能性がありますか？ ・子どもを迎えるにあたり、家族にどんな役割を期待していますか？ それは適当ですか？ ・自分（たち）の子どもが寂しさや嫉妬などを感じるとしたら、どのように対処することができますか？ 	家族や親族の里子に対する態度も、里子の安心な生活に影響を与えます。また、家族や親族の安心な生活の確保も必要となります。特に自分（たち）の子どもへの生活・心情への配慮は重要です。
12	養育のための時間の確保	里親養育の状況に合わせ、関係機関との相談等を含む、安全・安心な養育のために必要な時間を確保している	<ul style="list-style-type: none"> ・養育の時間確保にあたり、仕事や家庭の状況等で、困難となり得ることにはどんなことがありますか？ ・現在、家族や親族の中に特別なサポートやケアが必要な方はいますか？ ・これらを里親としての活動と両立させていくための工夫、計画はありますか？ 	迎え入れる子どもの状況に応じた養育のための時間の確保を考える際は、収入を得るために必要な仕事や、家族・親族内の家事・子育て・介護等の状況・負担を総合的に考慮する必要があります。
13	社会的なネットワーク	仕事、子育て、趣味・余暇活動、地域・社会活動等を通じ、養育を支える家族・親族以外の社会的ネットワークがある	<ul style="list-style-type: none"> ・家族・親族以外に、どのような社会的ネットワークがありますか？ それを里親養育に活かすことはできるでしょうか？ ・子どもが病気になった場合やトラブルの発生など、急に時間を作る必要が生じた場合、職場等の理解や協力は得られるでしょうか？ 	
14	子育ての経験等	子育ての経験等があり、子どもを養育する際の基本的なスキルを備えている（子育ての経験はないが、子どもを養育する際の基本的なスキルを習得する意欲と見込みがある）	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでお子さんとかかわった経験（実子の養育、子どもの預かり、ボランティア・仕事上の経験など）はどの程度ありますか？ ・どんなお子さんにかかわったことがありますか？（年齢、性別、障がいがある、医療的ケアが必要ななど） ・（乳幼児の養育経験がない場合）必要な手技習得は可能でしょうか？ どのように習得しますか？ 	基本的なスキル＝乳幼児を養育する場合に必要な育児の手技や、子どもの発達段階に応じた関わり方の調節を指しています。 ※里親養育の経験がない場合、養育実習での評価（A/B/C）について根拠欄に記載する。
15	子どもに関わる姿勢	子どもに関わることが好きであり（嫌いではなく）、面倒臭がらずに、子どもの目線に立って関わっている	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども（養育中の子ども）と関わることは好きでしょうか、あまり好きではないでしょうか？ ・子どもの頃、どのようなしつけや教育を受けてきましたか？ ・子どもの養育には我慢強さも必要かもしれません。人に我慢強く関われるほうですか？ 	

E 【エキスパートイズ】里親養育に必要な理解と専門性				
#	小項目	定義	里親養育を考える（チェックする）際の【問いの例】	留意事項
16	チーム養育と連携・協力	里親養育の基礎が里親とフォスタリング機関のチーム養育であることを理解して協働し、養育にあたり、子どもの家族、児童相談所等の関係機関（者）と連携・協力する	<ul style="list-style-type: none"> ・委託中に子どもとの関係などで困った場合にどのように対処しますか？ ・困ったときに支えになる、里親仲間はいらっしゃいますか？（そういう仲間作りはできそうですか）？ ・子どもを委託する児童相談所や、フォスタリング機関にはどのような期待（不満）を持っていますか？ 	
17	個別化された養育（子どものアタッチメント形成・治療的養育）	子どもの行動について、背景にある感情や経験を考え、その子どものニーズに合わせて養育する 【追記】子どもの「移行」時は、前後の養育者・関係者と協力し、子どもができる限り見通しが持てるよう工夫・配慮する	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで周囲に自分を困らせ、悩ませる行動をする人がいたことはありますか？ ・子どもや親の存在そのものと、自分を困らせる行動を分けて考えることは可能でしょうか？ ・人とのトラブル等が起こった際、落ち着いて自分の感情を客観視して、振り返ることはできますか？ 【追記】 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを迎え入れる際、前の養育者と一緒に取り組めることには、どんなことがあるでしょうか？ ・子どもの移行の不安や負担を軽くするため、どんな工夫や配慮が思いつきますか？ 	虐待、ネグレクト、分離・喪失を経験した子どもと安定した関係を築くために、里親にとって最も重要な養育の助言＝望ましくない行動に対して「なぜそんなことをするのか？」と問うのではなく、「この行動は何を伝えようとしているのか？」「この子の過去の経験をどう反映しているのか？」「この子は何を必要としているのか？」と考えること。 ・食べ物盗む子ども：食べ物が常にあるとは限らなかった経験 ・就寝時に怯える子ども：親が酔って帰宅する時間だった経験 ・里親にしがみつく子ども：養育者が身体的・心理的に不在だった経験
18	長期的な関係の維持・構築（子どものパーマネンシー保障）	子どものパーマネンシー（大切な人との長期的なつながり）保障の重要性を理解し、家族交流や家庭復帰、養子縁組への移行等をサポートするほか、子どもとの長期的な関係作りにも配慮する	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにとって実親や家族・親戚はどのような存在だと考えますか？ ・子どもと実親との面会交流に対して、どのような価値を感じますか（または感じませんか）？ ・子どもが里親（家族）との長期的なつながりを感じられるため、どんな配慮が考えられますか？ ・子どもと長期的なつながりを持つことに負担を感じることはありませんか？ 	実親と里親の関係が対立的な関係である場合、子どもは実親と里親の間でどちらに好意を寄せてよいのか葛藤（忠誠葛藤）します。実親と里親の協力的・協調的な関係が、 子どもの安心・安定につながります。
19	守秘義務と記録保持	フォスタリング機関等とも相談の上、子どもや子どもの家族の個人情報を安全に管理・共有するとともに、子どもの成長・生活の記録（写真、工作物、成績、養育記録等）を整理・保管する	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等により、ご家族の生活の様子等を共有したり、情報発信することはありますか？ ・子どもの個人情報が書かれた資料を受け取った場合、どのように管理しますか（していますか）？ ・近所の人に里子を紹介するとき、里親仲間に養育の相談をするとき、学校の先生や医師と里子について相談するとき、里子の情報をどこまで伝えられるでしょうか？ 	
20	里親養育歴	里親養育の経験があり、養育により子どもや子どもの家族にポジティブな変化があった	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に里親委託等を受けたことがある場合、その経験はどのような経験でしたか？ ・よかったことはありますか、心残りはありますか？ ・今後、委託元の児童相談所、担当するフォスタリング機関に要望したいことにはどんなことがありますか？ 	

強み・課題（心配） 強みは◎の欄を中心に整理して記載します（項目にないその他の強みについても記載することができます）。課題（心配）は△の欄を中心に整理して記載します（項目にない課題についても記載することができます）。

今後の研修・支援のニーズ 強みと課題を踏まえ、今後の研修やトレーニングの必要性和受講機会の設定等、今後のフォスタリング機関による支援ニーズ（特にこどもの委託を受けた場合）について記載します。

チームの里親養育方針（まとめ） 里親とフォスタリング機関のチーム養育により、どのような里親養育を行いどのようなポジティブな変化を子どもやその家族にもたらしたいのか、方針を簡単にまとめます。

子どもの里親等委託に関するニーズ検討シート

このシートは、子どもの措置(先)や行動課題へのよりよい対応等について、子どものケース担当(児童福祉司)、児童心理司、里親(QPI)担当職員、一時保護所職員、その他の関係者等(実親等、市町村職員、里親・里親支援センター職員、施設職員等)が話し合い包括的に検討するためのシートです。検討は、子ども(家族)の今～将来のWell-beingを焦点に、子どもの成長発達やトラウマ等に関する専門的知見も考慮して行います。(検討メンバー、シートの詳細な記入にこだわる必要はありません。)

令和7年11月4日

【子どもの名前(年齢)】

【検討理由】

【検討参加者】

アセスメント(分野)	子どもの強み (意見交換→箇条書き)	子どもの課題・想定されるリスク (意見交換→箇条書き)	求められる里親養育 (意見交換→箇条書き)	移行～委託後の里親・子どもへのサポート (意見交換→箇条書き)	備考 (参考項目例: 追記等可能)
<ul style="list-style-type: none"> ●生まれ持つ特徴・障がい ●病気や事故を起因とする特徴・障がい * 主として固定的なこと ●年齢・発達段階の特徴 			(子どものニーズに対応する治療的養育は?)	(誰が、誰に、何を、どのように?)	<ul style="list-style-type: none"> ① 気質・感覚特性 ② 身体的・医療的配慮 ③ 得意なこと・才能 ④ 発達・知的側面 ⑤ 言語理解・コミュニケーション
<ul style="list-style-type: none"> ●生育歴や養育・経験の影響を受ける特徴 ・アタッチメント ・コミュニケーション、社会性(自己・他者への基本的認識) ・知的・情緒・身体・運動 ・習慣や依存 etc. 		重なり合いの可能性	(子どものニーズに対応する治療的養育は?)	(誰が、誰に、何を、どのように?)	<ul style="list-style-type: none"> ③ 得意なこと・才能 ④ 発達・知的側面 ⑤ 言語理解・コミュニケーション ⑥ 生活習慣 ⑦ 登校・学習状況 ⑧ 良心・道徳心 ⑨ 心理・情緒面の安定 ⑩ 養育者等の大人との関係 ⑩ 遊びのスキルと友人との関係
<ul style="list-style-type: none"> ●生育歴・経験等 ・信頼できる養育者、その他の大人がいた経験 ・虐待やネグレクト ・分離・喪失 ・養育者の変更・交代 ・暴力、いじめ、差別 etc. 			(子どものニーズに対応する治療的養育は?)	(誰が、誰に、何を、どのように?)	<ul style="list-style-type: none"> ⑫ 被虐待歴・その他のトラウマ体験 ⑬ 経験してきた養育の安定性 ⑭ 養育者との分離・喪失体験 ⑮ 家族の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●子ども・親・家族の希望 ●親・家族などの大切な人や物・環境とのつながり ●親・家族の状況 			(子どものニーズに対応する治療的養育は?)	(誰が、誰に、何を、どのように?)	<ul style="list-style-type: none"> ⑮ 子どもの希望 ⑯ 本人のつながり ⑰ 親や家族の希望と状況

<p>＜まとめ＞ ニーズ(希望・強み・課題) ↓ 求められる里親養育 里親・子どもへのサポート (対応するチーム養育)</p>	(ニーズの焦点: 養育者への信頼、感情への対処、自尊感情、自己効力感、所属・つながりの確保・維持など)	(チーム養育: チームの目的は? それぞれの役割は? 誰が、誰に、何を、どのようにする?)	(備考) ・乳幼児は里親等委託が“原則”であることを踏まえた上で、可否・可能性を検討します。 ・小学生以上についても、里親等委託の可否・可能性を検討します。 ・里親等委託が不可の場合、実際にするかどうかは別にして、「家庭養育優先原則」を踏まえ、子どもに説明できる理由を明確にしておく必要があります。 ・きょうだいの場合、過去のつながりの実状、今後の生活・交流の見通し等を考慮します。 ・ここでの検討は、施設入所の場合でも、施設での養育に活かすことができます。
<p>里親委託の可能性理由(子どもへの説明) ※措置(変更)を検討する場合の記載欄</p>	<p>里親委託の可否・可能性→ ※実際に委託できる里親等がいるかどうかは、(一旦)ここでは問わない。</p>	<p>里親委託が不可の場合の理由→ ※乳幼児の場合、なぜ例外にあたるか全ての子どもについて、なぜ適当でないかなど</p>	

評価の際の参考項目	内容(例)
①気質・感覚特性	持って生まれた感情的な傾向、行動・感覚上の特性
②身体的・医療的配慮	身体障がいの有無、アレルギーや持病の有無、医療的ケアの必要性
③得意なこと・才能	運動神経、芸術の才能、記憶力、その他
④発達・知的側面	認知・運動・知的発達の段階
⑤言語理解・コミュニケーション	言葉の理解力や意思表示の能力
⑥生活習慣	食事・睡眠・排泄・着脱・入浴などの基本的な生活習慣のパターン
⑦登校・学習状況	登校状況、学校での様子、学習の習慣、成績など
⑧良心・道徳心	良心や道徳心の発達状況
⑨心理・情緒面の安定	感情の理解、情緒の安定性、不安なときの感情コントロール
⑩養育者等の大人との関係	アタッチメントスタイル、権力のある人に対する反応
⑪遊びのスキルと友人との関係	遊びのスキル、友人との関係、トラブルの傾向
⑫被虐待歴、その他のトラウマ体験	過去の虐待やネグレクト、その他のトラウマ体験
⑬経験してきた養育の安定性	特定の大人による安定した養育の経験
⑭養育者との分離・喪失体験	養育者との分離・喪失体験
⑮子どもの希望	子どもの意見・希望
⑯子どものつながり	子どもにとって大切な人や物、環境とのつながり
⑰親や家族の希望と状況	親や家族の意見・希望、親や家族の状況

安定した里親養育のためのマッチングシート

担当者（児相マッチング担当者）

注1) 児童相談所だけでなく、子どもとその家族はもとより、フォスタリング機関、現行養育者等の意見を十分踏まえ検討
 注2) 乳幼児については、里親等委託が原則であることを踏まえ、子どものニーズに焦点化するとともに柔軟に幅広く可能性を検討
 注3) 里親養育は里親だけによるのではなく、里親とフォスタリング機関、更に委託児童相談所のチーム養育であることを念頭に検討

#	分類	項目	記入日： 年 月 日 () <委託児相>		記入日： 年 月 日 () <フォスタリング機関>						
			子どものニーズ検討シート等を元に記入	里親に依頼したい条件・養育の内容等	里親養育チェックシート等を元に記入	里親養育チェックシート等を元に記入	里親チェックシート等を元に記入	里親チェックシート等を元に記入			
			子ども(実親・家族)	求められる里親養育	里親候補者①(その家族)	マッチ度	里親候補者②(その家族)	マッチ度	里親候補者③(その家族)	マッチ度	備考(意見・補足等)
1	基本情報	性別/年齢	XXさん(X歳)		里父XXさん(X歳) 里母XXさん(X歳) 希望の児童の年齢条件もあれば	○ ○ △ x -	里父XXさん(X歳) 里母XXさん(X歳) 希望の児童の年齢条件もあれば	○ ○ △ x -	里父XXさん(X歳) 里母XXさん(X歳) 希望の児童の年齢条件もあれば	○ ○ △ x -	
2		今の居住地 (代替養育の場合、自宅と 居住場所をそれぞれ 記載)	長野県XX市		長野県XX市	○ △ x -	長野県XX市	○ △ x -	長野県XX市	○ △ x -	
3	マッチング条件	想定する委託期間 とその確実性 (現時点での見込み)	短期/中期/長期 or XXか月etc		短期/中期/長期 or XXか月etc	○ △ x -	短期/中期/長期 or XXか月etc	○ △ x -	短期/中期/長期 or XXか月etc	○ △ x -	
4		基本的な委託条件	児童・家族の意向を記載。 (例:里親に事前に会いたい等)		里親の意向を記載 (例:保育所利用をできるだけ早くお願いしたい等)	○ △ x -	里親の意向を記載 (例:保育所利用をできるだけ早くお願いしたい等)	○ △ x -	里親の意向を記載 (例:保育所利用をできるだけ早くお願いしたい等)	○ △ x -	
5		交流条件 (共同養育に関する条件 を含む)	児童・家族の意向を記載。 (例:毎月交流をしたい等)		里親の意向を記載 (例:委託前にできるだけ平日含め多く交流をしたい等)	○ △ x -	里親の意向を記載 (例:委託前にできるだけ平日含め多く交流をしたい等)	○ △ x -	里親の意向を記載 (例:委託前にできるだけ平日含め多く交流をしたい等)	○ △ x -	
6		過去の不調・ マッチング不成立理由	例) 他の里子さんとの関係が上手くいかず不調		例) フルタイムで共働きのため、乳幼児の委託は難しい	○ △ x -	例) フルタイムで共働きのため、乳幼児の委託は難しい	○ △ x -	例) フルタイムで共働きのため、乳幼児の委託は難しい	○ △ x -	
7		「移行」(事前面談/事 前交流)に関するニ ーズ	例) 里親さんに会ってから委託を決めたい		例) 仕事の関係で平日での事前交流が難しい	○ △ x -	例) 仕事の関係で平日での事前交流が難しい	○ △ x -	例) 仕事の関係で平日での事前交流が難しい	○ △ x -	
8	詳細情報	アピールポイント (強み)	例) 食事・睡眠・排泄・着脱など 基本的な生活習慣が身につけている		例) 養育歴が長く、精神的に不安定な児童さんを 養育した経験もある	○ △ x -	例) 養育歴が長く、精神的に不安定な児童さんを 養育した経験もある	○ △ x -	例) 養育歴が長く、精神的に不安定な児童さんを 養育した経験もある	○ △ x -	
9		懸念のあるポイント (課題・リスク)	例) 養育者が不在がち(子どもが予測できない 養育者の交替)の状況だったため、里親への過 度なしがみつき(養育者との親密な接触を避け る傾向)が懸念される		例) 共働きのため、保育園の利用が必要	○ △ x -	例) 共働きのため、保育園の利用が必要	○ △ x -	例) 共働きのため、保育園の利用が必要	○ △ x -	
10		委託児童相談所のソー シャルワーク等 里親とフォスタリング 機関のチーム養育	例) 前回の不調事例を踏まえて、 子どもと児相担当者の定期面談を行いたい		例) 思春期の児童との接し方に特化した研修など	○ △ x -	例) 思春期の児童との接し方に特化した研修など	○ △ x -	例) 思春期の児童との接し方に特化した研修など	○ △ x -	
11		その他得られるサポー ト(地域の支援体制、 社会的ネットワーク 等)			例) 近隣に学童があり利用可能	○ △ x -	例) 近隣に学童があり利用可能	○ △ x -	例) 近隣に学童があり利用可能	○ △ x -	

マッチング 年 月 日 ()	子どもと家族のニーズ(優先順位等)	必要な条件(優先順位等)	委託上の強み/予測されるリスクとサポート	総合	委託上の強み/予測されるリスクとサポート	総合	委託上の強み/予測されるリスクとサポート	総合	マッチング可否 優先順位
【まとめ】 マッチングの 可否・優先順位、理由				○ △ x		○ △ x		○ △ x	

○	求められる里親養育に適合する（適合する見込みがある）。
△	求められる里親養育への適合に一部課題があり（一部課題が見込まれ）、フォスタリング機関等による丁寧なサポートが必要。
×	求められる里親養育への適合に大きな課題があり（大きな課題が見込まれ）、フォスタリング機関等による集中的なサポートが不可欠。
—	里親が考える受け入れの条件と子ども（及び家庭の）のニーズ・状況が明らかに合わない。